



新宿区立柏木小学校だより

かしわぎ

<http://www.shinjuku.ed.jp/es-kashiwagi>

光 輝く舞台 みんなが主役の柏木劇場

副校长 則岡 正幸

いよいよ学芸会がやってきました。大抵の小学校では体育的行事の運動会は春か秋に毎年行われますが、学芸的行事の音楽会・展覧会・学芸会はそれぞれ3年に1回の周期で回ってきます。音楽的なもの、美術的なもの、そして演劇的なものと、様々な芸術的な表現力を發揮するチャンスです。このような大きな行事は、学校生活に変化を与え、大きく成長する絶好の機会となります。

昨年までの自分からの成長、この学芸会の取組を通しての成長、そして、その成長を学芸会の発表の場だけでなく、日々の学校生活に生かしていくことが学芸会の大きな目標でもあります。

時々、教室や体育館の練習をのぞきに回っているのですが、始めた頃に比べたら格段の上達ぶりで、子どもたちのもつている力に感心しています。一日ごとに先生方や子どもたちの作った大道具・小道具・衣装もそろってきて、「いよいよ本番が近いな」と私も胸がわくわくしてきます。

子どもたちには、「見ている人に分かりやすく」「気持ちが伝わるように」という話をしています。お年寄りや小さい子にも、はっきり聞き取れる声の大きさや話す速さ、心の様子が伝わるような動作や表情、声の調子で思い切り演じてほしい、表現する楽しさを味わってほしいと願っています。

今年度は1年生から6年生、柏葉学級まで楽しい脚本がそろいました。それぞれの学年の劇のおもしろさを感じていただけたらと思います。柏葉学級は全力でセリフを覚え、体育館に響く大きな声を出すように頑張っている姿が印象的です。1、2年生はかわいらしく一生懸命な演技に自然に涙が出そうです。3、4年生は展開に意外性のおもしろさがあります。気持ちの表現もなかなかのものです。5、6年生はさすがに楽しいだけでなく、劇を見ていて我々も考えさせられるところがあります。それぞれの学年のそういうところもぜひ味わってください。



12月の行事予定

1 水	安全指導
2 木	個人面談⑤ 4時間授業
3 金	個人面談⑥ 4時間授業 連合作品展見学(柏葉)
4 土	
5 日	
6 月	全校朝会 B時程 委員会活動(6校時)
7 火	避難訓練
8 水	4時間授業
9 木	
10 金	読書旬間終
11 土	
12 日	
13 月	全校朝会
14 火	
15 水	
16 木	8:40～学芸会リハーサル 5時間授業
17 金	8:40～学芸会児童鑑賞日 5時間授業
18 土	8:40～学芸会保護者鑑賞日 14:20完全下校
19 日	
20 月	振替休業日
21 火	出前授業5・6年(3～6校時) 指導教諭による図工授業
22 水	クラブ活動(6校時)
23 木	B時程 給食終 情報モラル教育5年(3校時) 大掃除(5校時)
24 金	2学期終業式 4時間授業 給食なし
25 土	
26 日	冬季休業日始
27 月	
28 火	※3学期始業式1月11日(火)
29 水	登校 8:15～8:25
30 木	朝の校庭開放・給食はありません
31 金	

※ 每月17日は、給食費の引落日です。

◆ B時程は、清掃なしで15分繰り上げ。

12月の生活目標

学校をきれいにしよう

4年生 学校生活の様子

4年担任

4年生も折り返し地点が過ぎ、いよいよ高学年が視野に入ってきました。はじめは小さな言い争いやけんかが多かったのですが、人数が少ない分ゆったりとした環境の中で、落ち着いて学校生活が送れるようになってきました。

後期の4年生の総合的な学習では、伝統文化について調べています。まずは身近な新宿区の伝統工芸である“東京染小紋”について学習を進め、11月16日（火）には、面影橋にある「東京染ものがたり博物館」に伺い、染物体験や工房の見学をしました。実際に体験することで職人の技や昔ながらの技法を肌で感じることができました。今回学んだことを学芸会の練習や社会科、国語の授業とリンクさせて、思考の幅を広げていければと思います。今後も、体験や活動を通して学習を深めていきます。




学芸会にむけて

学芸会担当

本年度は、3年に1回の学芸会を 12月 17日（金）・18日（土）に開催します。1～3年生は初めての、4年生以上は最後の学芸会になります。

コロナ禍のため、全校で集まって鑑賞会ができませんが、次のような感染対策をして取り組みます。

まず、ステージをフロアまで広げ、演者同士の間隔をとります。そして、台詞は正面を見て話します。また、全員での合唱も控え、パートごとに少人数で歌うなどの工夫をします。

昨年から大きな声を出すことさえ、制限されてきましたが、学芸会では台詞が聞こえないと面白さや素晴らしさがなかなか伝わってきません。人々の声出しに苦戦しながらも、子どもたちそれぞれが様々な目標をもって取り組んでいます。

また、本年も動画撮影を業者委託しております。子どもたちのがんばりを、ぜひご自分の眼でご覧になり、一緒に笑い一緒に感動し、拍手を送っていただけるとうれしいです。学年みんなが心を一つにして作り上げる達成感を味わっていただきたいと思います。

*18日（土）の保護者鑑賞日は演技学年の方のみの入れ替え制となります。ご了承ください。

音楽の授業について

音楽専科

今年度は、3年生から6年生、柏葉学級を担当しています。また、2年生は担任と私の両方で担当しています。1年生は、講師の小宮一恵先生が担当しています。

新型コロナ感染拡大防止のため、当初は音楽の授業は自粛とされていましたが、徐々にできるところから始めました。音楽鑑賞を中心に、音楽作りにもじっくり取り組みました。

2学期からは、鍵盤ハーモニカやリコーダーも、マスクをつけたまま吹ける工夫や、隣の人との間を広めに取るなどの対策をして演奏しています。子どもたちが自分たちでソーシャルディスタンスに気をつける場面も見られます。学習の中で子どもたちが音楽を楽しんでいる様子を見ると、音楽が心を癒す力を感じます。

これまででは、ミニコンサートという形で音楽を発表する機会を作るようにしていましたが、今年度はまだその機会を設けることができません。3学期には、学年ごとに発表会を行う予定で、子どもたちもそれを目標に頑張っています。

詳細は、学年便り等でお知らせいたします。

一人一人の学びをつなぐ図画工作の学習

図画工作専科

子どもたちは、造形表現や鑑賞の学習活動を通して、形や色、材料や場所、イメージなどについて感じ取り、多様なものの見方や考え方があることに気付いていきます。表したいことや表し方を考える活動を通して、想像力や論理的に考える力を高めています。図画工作科は、自分を取り巻く世界を造形的な視点から理解し、新しいものを創り出す資質や能力を育む教科です。

しかし、子どもたちは、同時に他の学習活動や生活の様々な場面でも多くを学んでいます。4年生の題材「柏木小紋」では江戸小紋の鑑賞から、タブレット端末を用いてプログラミングで自分の小紋をつくり、「オリジナル文様でMYふろしきをつくろう」で型染めを行いました。他の版画の題材との関連はもちろんのこと、社会科や国語科の伝統工芸の内容や教材との関連を図っています。運動会での表現で使ったフラッグに文様を付けたり、「東京染めものがたり博物館」を見学し、江戸小紋の染物体験をしたりしたことその一環です。今後も、一人一人の学びをつないで価値ある学習経験となるよう計画し、実施してまいります。